

第18回通常総会で報告する吉城常任理事，中川会計担当理事，兄玉監事。(上から)

(688 ページから)

この結果，新役員は別記のとおり，決定され，これを総会の席上に提出され，全会一致承認した。

(6) 昭和39年度事業計画の件
(吉城常任理事)

秋の大会を9月24日に東京で，冬の大会を11月19日名古屋でそれぞれ開催する。講習会は毎回好評なので10月と来年2月頃の2回開きたい。出版計画については，まず「自動車技術」を毎号80ページとし，そのほか「自動車工学ハンドブック」「国産自動車諸元表」「乗用車の技術的解説書」そのほか FISITA 加盟傘下各国と連れいして大いに出版物を充実

したい。研究成果については，強度計算例そのほか規格関係も大いに発展しようし，I.S.O.に入りこの方面で国際舞台へ進出したい。(要旨)

(7) 昭和39年度予算に関する件
(吉城常任理事)

別記のとおり発表があり，これを承認。

(8) FISITA 第10回国際自動車技術会議報告の件
(吉城常任理事)

配布された報告書により，これを了承。

▶ 第14回自動車技術会議賞授賞式
昭和39年5月29日(金)・日本都市センター(東京・平河町)において開催。

- (1) あいさつ(吉城常任理事)
- (2) 審査経過報告(田中敬吉委員長)

(3) 授賞

▶ 学術賞「自動車騒音の解析とその



審査報告する田中審査委員長

の防止に関する研究」
中村弘道君(日産自動車株式会社)
昭和19年 9月

東京大学第1工学部造兵学科卒業

19年 9月
海軍技術見習尉官を命ぜらる

20年 3月
海軍技術中尉に任ぜらる

21年 4月
日産自動車株式会社に入社

36年 9月
工学博士(東京大学)

36年 12月
第2実験課長兼研究所研究員

38年 12月
第1車両実験課長兼研究所研究員

38年 5月
日本音響学会佐藤論文賞を授賞

「車室内の空洞共振とその防止」
(授賞理由)

自動車騒音の解析と防止法について多くの研究を行ない，大きな業績をあげた。とくに遮音材の研究では電気的等価変換による理論解析と実験解析によって自動車遮音材の特性を解明し，新しい知見と実用上有意義な資料を提供した。わが国の自動車工学に関する学術の向上に大きな寄与をなした。

▶ 技術賞「自動車の給油期間の延長の実用化」

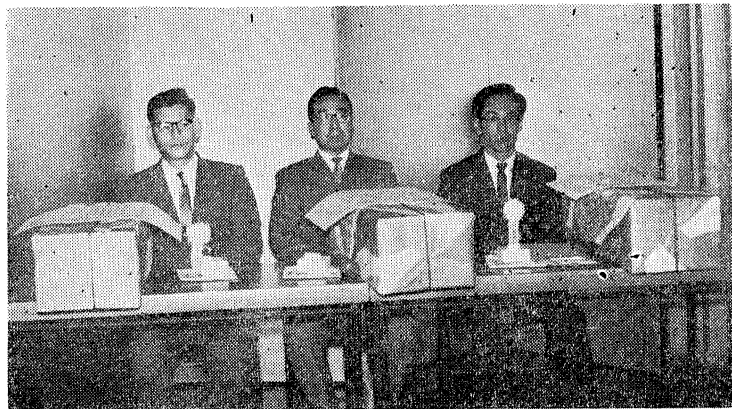
桜井真一郎君(プリンス自動車工業株式会社)

昭和26年 横浜工業専門学校機械科卒業

27年 プリンス自動車工業株式会社入社

38年 乗用車部車両設計1課課長代理

奥井四良君(プリンス自動車工業株式会社)



左から中村・桜井・奥井の授賞者諸君

昭和27年 慶応義塾大学工学部機械工学科卒業
 27年 プリンス自動車工業株式会社入社
 38年 乗用車部走行実験1課課長代理

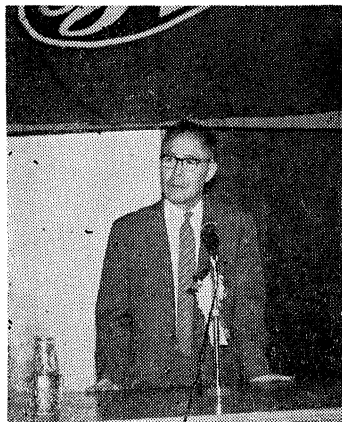
(授賞理由)

自動車のシャシー各部の給油期間延長を目ざし設計実験共同して開発研究を行ないその結果特殊のシャシーグリースを用いることなく、従来3,000kmごとに補給していたものを30,000km以上の期間無補給で使用することを可能にした。

地味な仕事であるが新しい自動車の一つの方向を欧米進歩に遅れることなく具体化した功績は誠に大きく、わが国自動車の品質向上に大きな貢献を行なった。

(4) 浅原名誉会員あいさつ

私は自動車技術会とは何かと深い親しい会である。本日は、若い優秀な技術者諸君が、表賞されるもので



あいさつする浅原名誉会員

誠に喜ばしい。

また、過日の FISITA 第10回国際会議はアジアで初めてであり、日本側の準備も予想外にととのい、外国の方々は日本の自動車工業の発

展をみて大変驚いていた。わが国にとつて大きな役割をしたわけであるが、この背景には技術者諸君の発展も目ざましい。また、FISITA には2,3の論文も日本から発表されたが、何といつても底が浅いので、優秀な論文の中に入り目立たなかつたが、これを機会に国際舞台へどしどし論文を提出されるよう祈る。特に、若い技術者諸君は海外に出て、日本の自動車工業の繁栄のバックボーンとなるよう切に希望する。(要旨)

▶春季学術講演会

昭和39年5月29日(金)・日本都市センターにおいて開催。

13:00~18:00にわたり2会場にわかれて21のぼる研究発表があつた。(下表)

▶懇親会

昭和39年5月29日(金)・日本都市センターホテルにおいて開催。

出席者 50名

昭和39年春季学術講演会 講演題目

(※印は講演者)

第 1 会 場				第 2 会 場			
No.	題 目	講 演 者	座長	No.	題 目	講 演 者	座長
1	乗用車の乗心地に与えるエンジンマウントの影響	※兼 重 一 郎 (い す せ) 約 浅 谷 野 一 稔 (//)	亘 理 厚 (東大生研)	11	無給油シャシ潤滑に関する一実験	※光 成 泉 司 (プリンス) 鈴 木 淳 司 (//)	平 尾 収 (東大生研)
2	トルク変動による駆動系振り曲げの運成振動について	後 藤 進 (トヨタ)		12	R. I. 利用によるエンジンオイル消費要因調査	中 島 桂 太 郎 (トヨタ) ※小 野 田 邦 安 (//) 長 谷 川 恵 之 (東亜燃料) 小 野 寺 敬 (//)	
3	低温滲炭窒化ばねの特性とその相的考察	吉 川 文 岳 (中央発条)		13	ピストンの汚れに関する基礎実験	※古 浜 庄 一 (武蔵工大) 多 田 寿 雄 (//)	
4	自動車用安全ベルトについて(第2報)(衝突時の人間の挙動)	佐 藤 武 (慶 大)		14	自動車機関用ピストンリングの上下面摩耗対策の一手段	※村 岡 務 (日本ピストンリング) 菅 原 英 祐 (//)	
5	自動車の走行抵抗の測定とその精度について——速度計を用いて減速度を求める場合——	中 島 隆 (東大生研)	山 本 峰 雄 (東京農工大)	15	都市走行下の燃料消費について	※深 沢 延 実 (日 産) 吉 田 次 郎 (//)	渡 部 一 郎 (慶 応 大)
6	自動車用エアブレーキ系の伝達特性について	※副 島 海 夫 (船 研) 青 木 和 彦 (元 船 研) 中 西 順 三 (日本エアブレーキ) 志 波 保 雄 (//)		16	自動車の燃料の消費計に関する研究	安 藤 亨 (慶 大)	
7	路上ダストについて	山 下 憲 一 (機 試)		17	LPG吸入による車両用ディーゼル機関の性能向上	奔 藤 孟 (早 大)	
8	大型自動車アンチ・スキップ装置の乗車試験について	※羽 根 田 健 策 (三菱日本) 相 原 実 策 (//)		18	トランジスタ点火装置	乾 谷 知 次 郎 (日 立) 上 辺 隆 彦 (//) 渡 辺 勇 一 (//)	
9	身体運動の制御系	小 林 一 敏 (東 大)	近 藤 政 市 (東工大)	19	デジタルスピードメーターについて	若 松 久 人 (日本電装)	吉 城 肇 尉 (技術会)
10	人間の動特性について	稲 葉 正 太 郎 (東大生研)		20	乗用車車体の構造解析(第1報)	※川 合 平 夫 (新 三 菱) 小 金 井 康 臣 (//)	
				21	ウェブに肉抜きを有する溝形梁の剛性と強度(第1報)	※山 本 峰 雄 英 (農 工 大) 平 田 利 英 (//)	